

## 第6章

# 計画実現に向けた推進方策

---

6-1 施策の推進体制

6-2 計画の検証と見直し



## 第6章 計画実現に向けた推進方策

本計画の実現に向けて、施策の推進体制や計画の検証・見直し方法について定めます。

### 6-1 施策の推進体制

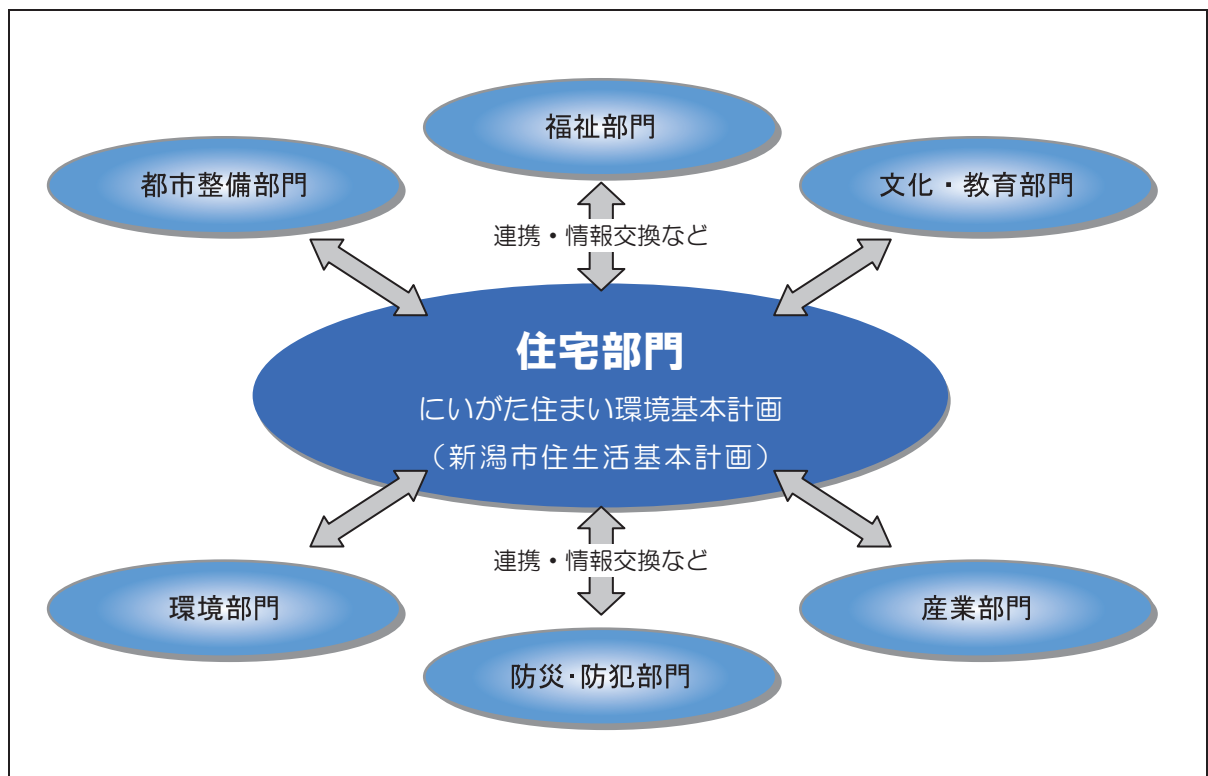
#### 6-1-1 関連部門との連携

住宅は、単に個人の私的生活の場であるだけでなく、都市や街並みを構成する重要な要素であり、また、安全、環境、福祉、文化といった地域の生活環境に大きな影響を及ぼす社会的要因のひとつです。

また、「第2章 新潟市の住生活の現状と課題」で示したように、住生活を取り巻く課題は多様化、複雑化しています。

このような課題に適切に対応していくためには、住宅部門とともに、都市整備、福祉、文化・教育、環境、防災・防犯、産業など、関連する各部門との連携・協力のもとにハード・ソフトの両面で施策を展開していく必要があります。

#### ■関連部門との連携イメージ



#### 6-1-2 市民参画と協働

住宅施策を展開していくにあたって、「市民」「民間事業者」「行政」の適切な役割分担のもと協働で取組を進めていく必要があります。

## 6-2 計画の検証と見直し

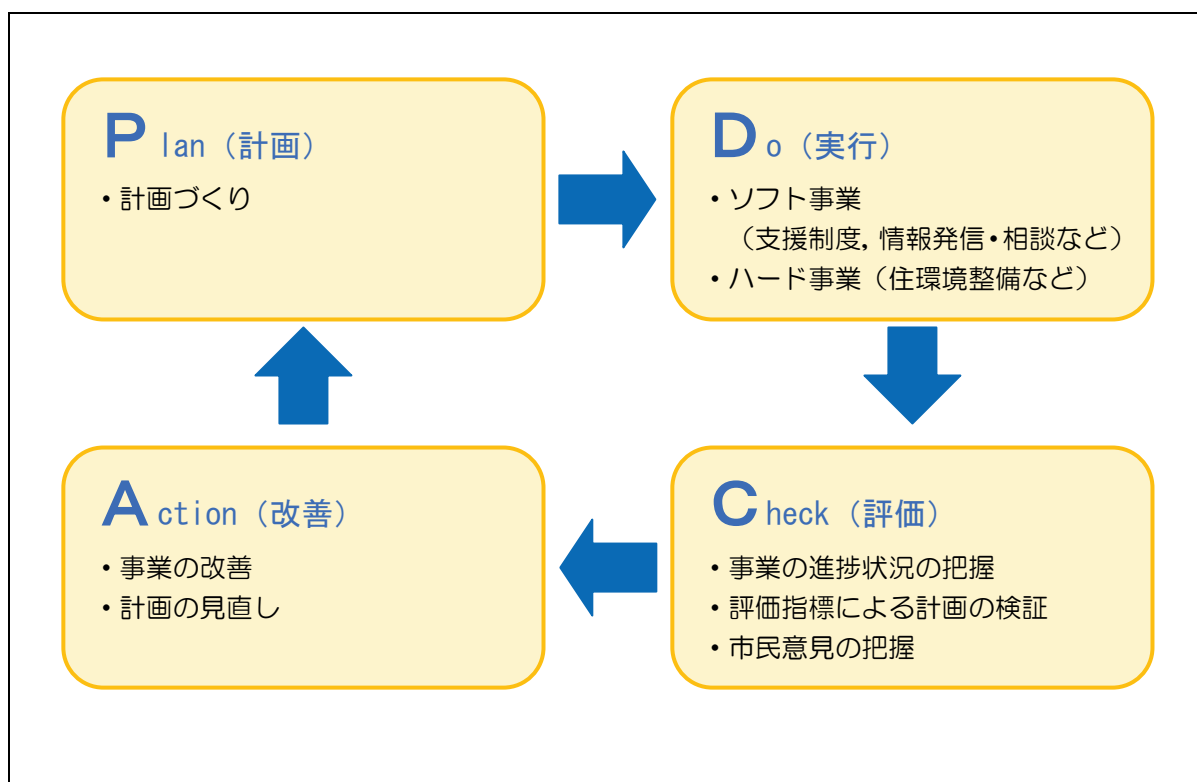
### 6-2-1 基本的な考え方（PDCAサイクルの採用）

技術の進歩や社会情勢の変化が急速な現代にあっては、計画の進捗状況や成果を適時・適切に評価し、必要に応じて柔軟に対応していくことが求められています。

このため、本計画の推進にあたっては、「PDCAサイクル」の考え方を採用します。

具体的には、計画（Plan）を実行（Do）に移し、結果・成果を評価（Check）したうえで、改善・改良（Action）を加え、計画の見直しや次期計画の策定へとつなげていくことを目指します。

#### ■PDCAサイクルのイメージ



## 6-2-2 計画の検証

P D C Aサイクルの「Check（評価）」の段階における検証方法について定めます。

### （1）評価指標による検証

#### ①評価指標の目的

- ・評価指標とは、施策や事業の達成度を測定する代表的なモノサシです。
- ・本計画においても、目標の達成度を定量的に把握し、施策の効果について定期的な分析・評価を行い、市民に対して分かりやすく説明するために、評価指標を設定します。

#### ■指標の目的

- ・目標の達成度の定量的な把握
- ・施策の効果に関する定期的な分析・評価
- ・施策の目的や成果に関する分かりやすい説明の実現

#### ②評価指標の種類

- ・評価指標には、「アウトプット指標（活動指標）」「アウトカム指標（成果指標）」の2種類のタイプがあります。

#### ■指標の種類

種類	概要
アウトプット指標 （活動指標）	・事業を実施することによって直接発生した成果物・事業量（アウトプット）を表す指標。
アウトカム指標 （成果指標）	・施策・事業の実施により発生する効果・成果（アウトカム）を表す指標。

#### ③評価指標の設定の考え方

- ・きめ細かな分析・評価を実施するため、「第3章 基本理念及び目標」で位置付けた4つの基本目標ごとに、関連する「アウトプット指標」「アウトカム指標」を設定します。
- ・アウトプット指標は、年度ごとに具体的な事業・施策の取組状況などを評価指標として設定します。
- ・アウトカム指標は、国の統計調査（住宅・土地統計調査など）の項目を評価指標として設定します。

#### ④検証方法

- ・アウトプット指標は、毎年数値を確認し、継続的・定期的な検証につなげるとともに、その結果を市ホームページ等で公表します。
- ・アウトカム指標は、データの基となる国の統計調査の結果の公表時期にあわせて数値の確認・検証を実施します。

## (2) 市民意見の把握

- ・施策に対する市民や事業者の評価（意見）については、補助事業の利用者や、住まいづくり関係の講習会やイベントなどの参加者を対象としたアンケート調査の実施などにより、モニタリングします。
- ・さらに、施策の効果・成果について、市民の意見を幅広く把握する必要性が高まった場合は、住生活に関する市民アンケート調査の実施を検討します。

## (3) 有識者会議からの意見聴取

- ・前述の評価指標による検証や市民意見の把握を踏まえ、計画の進捗状況や成果を適切に評価するために、外部委員等による有識者会議を毎年度開催し、意見を聴取します。

### 6-2-3 計画の見直し

PDCAサイクルの「Action（改善）」の段階における見直し方法について定めます。

## (1) 計画の見直し

- ・計画の検証を踏まえ、社会情勢や市民ニーズの変化などにより、施策の方向性を見直す必要があると判断された場合、計画期間中においても計画の見直しを実施します。
- ・また、計画の進捗状況や目標の達成状況によって、必要に応じて評価指標の項目・目標値の見直しや、事業の改善に取り組みます。
- ・計画や評価指標の見直しにあたっては、有識者会議や市民から意見を聴取します。

#### ■計画の検証・見直しフロー

